



第53年度通常総代会



びざん 8

JA NEWS 2022 NO.639

6月25日、JA会館別館大ホールで第53年度通常総代会を開き、534人（本人出席38人、書面議決496人）が出席しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、書面議決による議決権行使をお願いし、会場は「3つの密」を避けるため、座席の間隔を取り、扉も開けたままとし、会議時間も短縮を心がけました。勝占支所の田中稔氏が議長として議事進行を務め、令和3年度事業報告や令和4年度事業計画など提出議案及び附帯決議案が全て原案通り承認されました。

新執行体制決定

役員就任にあたり



松田代表理事組長



伊勢代表理事専務



岩井代表理事専務

盛夏の候、組合員各位に於かれましては益々ご清業のこととお喜び申し上げます。さて、私ごと、6月25日開催の第53年度通常総代会終了後の第一回理事会において、代表理事組長に選任され、その重責を賜りました。

また、同理事会において、代表理事専務に伊勢政喜氏が、代表理事常務に岩井公章氏が選任され、同日開催の監事会において、代表監事は日野雅史氏が、常動監事は小松秀壽氏が選任されました。

役員を全力を挙げ農協運営に取り組む決意でありますので、組合員の皆様には格別のご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

さて、わが国経済は長引く新型コロナウイルス感染症により、令和3年9月末まで緊急事態宣言が断続的に発出され力強さを欠いたものとなりました。10月以降はワクチン接種促進と社会経済活動を両立する動きが活発化していますが、未だ終息しない中、これまでのコロナ禍の経験をもとに再興に向けた新たな環境づくりが重要となっています。さらに、ウクライナ情勢などにより、今後、経済が大きく下振れるリスクを孕んでいることにも注意が必要です。

また、農業分野におきましてもコロナ禍が長期化する中で、外食やイベント等の自粛により国産農畜産物の需要減少や価格下落を招くこととなり、さらに資材価格の高騰などが、わが国農業に直面する事となりました。

一方、JA経営につきましては、地域社会や経済の疲弊とともにJA基盤は弱体化して事業の取扱高は総じて減少傾向にあり、超低金利環境の継続要因により資金運用環境の好転が見込めず、今後はさらに厳しい収支環境が見込まれています。

そのような状況を受け、金融監督の制度である早期警戒制度がJAにも適用され、監督行政がJA破綻を未然に防止するべく早め早めの改善を促し、JA経営基盤の確立・強化を図ることとなりました。

JA徳島市としては、事業・組織の改善を断行して健全経営に努めておりますが、いよいよ今年の5月30日からは金融共済店舗は8店舗、事務所は6店舗となる組織再編を実施しております。

当面はご不便をおかけする局面もあるかも知れませんが、「ヒト」、「モノ」、「カネ」そして「情報」を横断的に効率よく活用できる体制を整え、今までの支所単位ではなくエリア・地域単位による総合事業で組合員皆様の負担に応え、持続可能な地域農業を確立して農業者の所得増大を支え、地域共生社会の実現に貢献し、「食と農を基軸とした地域に根ざした協同組合」の役割を発揮して参る所存です。

組合員の皆様方におかれましては、農業ならびにJAを取り巻く現在の状況にご理解を賜り、なお一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。

代表理事組長
松田 清見

損益計算書

(単位：千円)

科目	令和3年度(実績)	令和4年度(計画)
1.事業総利益	2,559,907	2,270,545
信用事業総利益	1,227,193	1,000,000
共済事業総利益	578,851	500,000
購買事業総利益	350,770	355,500
販売事業総利益	370,992	371,000
その他の事業総利益	32,691	48,315
指導事業収支差額	△ 591	△ 4,270
2.事業管理費	2,036,322	1,981,303
3.事業利益	523,585	289,242
4.経常利益	659,265	422,229
5.税引前当期利益	614,635	413,724
6.当期剰余金	467,031	299,371
7.当期末処分剰余金	886,687	

剰余金処分案

(単位：千円)

科目	令和3年度(実績)
1.当期末処分剰余金	886,687
2.剰余金処分額	486,687
(1) 利益準備金	94,000
(2) 任意積立金	332,300
①信用事業基盤強化積立金	82,300
②施設整備積立金	200,000
③経営安定対策積立金	50,000
(3) 出資配当金	37,807
(4) 事業分量配当金	22,579
3.次期繰越剰余金	400,000

(注)1 出資配当金は年1%の割合です。ただし、年度内の増資及び新規加入については日割り計算となります。
2 事業分量配当金は受託販売品取扱高(果実・そ菜・花卉)に対し、0.3%の割合です。

第53年度決算報告

新役員紹介



理事
桑野 欣伸(渭東)



理事
高橋 能久(加茂名)



理事
角谷 茂(八万)



理事
板東 覚(八万)



代表理事常務
岩井 公章(佐那河内)



代表理事専務
伊勢 政喜(川内)



代表理事組合長
松田 清見(国府)



理事
野口 明(川内)



理事
傅藤 一(応神)



理事
伊川 幸治(北井上)



理事
橋本 勝(北井上)



理事
松本 和(佐那河内)



理事
井原 一成(不動)



理事
森 隆章(眉山)



理事
河上 勝夫(眉山)



理事
林 容子(女性枠)



理事
箕手 良知(南井上)



理事
黒上 喜訓(南井上)



理事
能田 義弘(徳島)



理事
鈴江 正義(徳島)



理事
安東 学(勝占)



理事
武市 栄(多家良)



理事
坂口 常博(多家良)



監事
泰地 輝(員外)



常勤監事
小松 秀壽(学識経験)



監事
國平 敬二(勝占)



監事
春田 操(応神)



監事
阿部 誠一(国府)



代表監事
日野 雅史(加茂名)



理事
林 恵子(土業枠)



理事
豊田 三代子(女性枠)

代表理事常務就任ご挨拶



岩井 公章

盛夏の候、組合員の皆様には、益々清栄のこととお慶び申し上げます。さて、私こと第53年度通常総代会終了後に開催されました理事会におきまして、代表理事常務にご推挙を頂き就任いたしました。いま世界は、終息の見えない新型コロナウイルス、ウクライナでの戦争、そして資源の高騰に伴うインフレ・金融政策は、金融引き締めへと大きく変革しており、その反動が各方面に波及し不透明で厳しい状況です。こうした中、持続可能なJAを達成する為に、「農家組合員のためのJA」を基本理念とし、経営基盤の強化と農政活動・営農経済事業の活性化と併せて、組合員に寄り添い利用者満足度の向上が図れるよう人材育成にも微力ではありますが誠心誠意努めてまいり所存でございます。何卒組合員の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますご挨拶とさせていただきます。

常勤監事就任ご挨拶



小松 秀壽

盛夏の候、組合員の皆様には、益々清栄のこととお慶び申し上げます。さて、これまでのJAの歴史には、上り坂、下り坂、そして、まさかという坂もありました。そして、いかなる時も、先人が挑戦した結果、今が在ります。私どもも、今を支えるだけでなく、常に新たな挑戦が求められています。組合員の皆様のご期待と信頼に引き続き重要なミッションに挑戦する日々を繰り返さなければなりません。強固な経営基盤を確立することにより、自己改革のさらなる実践を加速し、基本目標たる「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」実現のため全力をもって邁進しなければなりません。常勤監事の重責を、目の前の危機を好機に変えていく強い思いで務めてまいります。組合員の皆様におかれましては、一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

代表理事常務退任ご挨拶



丸岡 博

盛夏の候、組合員の皆様におかれましては、益々清栄のこととお慶び申し上げます。さて、私こと令和4年6月25日の第53年度通常総代会をもって代表理事常務を退任致しました。在任中、大過なく職務を全うできましたことは、ひとえに皆様方の温かいご厚情とご指導の賜物と深く感謝申し上げます。顧みずれば、昭和54年に入組し、40数年もの長い間に経済並びに金融情勢はグローバル化が進み大きく変貌しました。農業情勢においても農業人口の減少・高齢化・農業生産の二極化が進展する中で、JAを取り巻く環境も農協法の改正や規制改革等によりかつてない大改革が求められ、当JAでも自己改革が継続して行われております。これも組合員の皆様のご理解とご協力のおかげと感謝申し上げます。最後にになりましたが、組合員の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。

常勤監事退任ご挨拶



宮本 修司

盛夏の候、組合員の皆様には益々清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格段のご指導とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。さて、私ことこのたび第53年度通常総代会をもちまして常勤監事を退任致しました。在任中は、監査業務に對しましてご理解ご支援を賜り、お蔭さまで大過なくその職責を果たすことができましたこと、ひとえに皆様方のご厚誼の賜物と存じ衷心より厚く御礼申し上げます。退任後はこれまでご指導いただきました数々の経験を糧として、これからの人生を日々新たな想いで、微力ながら地域貢献に取り組んで参る所存でございます。今後とも従前同様ののご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。最後にとなりましたが、JA徳島市の更なる発展と組合員皆様方の益々のご健勝ご多幸を心からご祈念申し上げます。在任中の御礼と退任のご挨拶とさせていただきます。

甘諸部会 AI かし・ドローン農業散布でスマート農業



川内甘諸部会では、「e-kakashi」【農業 AI ブレーン】(ソフトバンク株式会社)を昨年からの試験導入しています。将来的に、「e-kakashi」の機能を使った部会独自の栽培ナビゲーションを実装させることが目標です。

導入の目的は、近年、気候変動が深刻化し農業への影響も危惧されていることや、将来にむけた安定的な収益を確保すること、また、新規参入した生産者の農業技術習得の補助にも役立てられると考えたためです。装置は、5月末、生産者6軒の定植前の圃場に設置しました。

「e-kakashi」は、計測した空気中の湿温度、日射から、飽差、露点温度、絶対温度、積算日射量、日中平均、夜間平均温度等を算出できます。

また、土中の環境を計測するセンサーもあり、電気伝導度、体積含水率、温度なども計測が可能で、それらのデータが、リアルタイムで生産者のスマートフォン端末等で確認でき、また過去の計測値データも集積され閲覧ができます。今後、収穫の時期まで、データ収集、分析を継続していきます。

他県のハウス栽培を行うイチゴ農家等では、「e-kakashi」の栽培ナビゲーションを活用し、収益が大きく向上した事例も複数挙げられています。また、肥料価格が高騰する中で、科学的な栽培を通じて肥料の過剰施肥を防ぐこともできるの

ではと期待が高まります。同部会 伊勢直樹部会長は、「温暖化や豪雨の影響から、ベテラン生産者にとっても、経験や勘をもとにした、例年どおりの栽培管理では、品質維持が困難になってきている。持続可能な農業のため、導入試験を円滑に進めていきたい。」と意気込んでいます。

6月27日は、基腐(もとぐされ)病対策、害虫防除のため業者と連携し、ドローンを使用した農業散布の試験を行いました。約2.5畝の圃場にドローンで農業散布し、準備も含め約50分で作業が完了しました。基腐病の発生は管内での確認はないものの、今後の発生を懸念し、早めの対策に乗り出しました。その他、人手不足や生産者の高齢化に伴い、労力軽減と時間短縮を図り、夏の熱中症対策等、様々な課題解決が目的です。伊勢部会長は、「短期間、広範囲に一括散布することにより、害虫の抵抗性を抑制できれば。」と期待しており、東部営農経済センター佐藤徹也職員は、「今後、より多くの生産者に利用してもらうシステムを構築することが一番の課題。」と話しています。

写真⑥は、「e-kakashi」を設置する伊勢部会長、JA職員、支援センター職員

写真⑦は、ドローンの農業散布を見学する部会員

関西市場 4社へ 挨拶及び販売促進依頼

6月21日、丸岡博 常務、営農経済部 井河勝淑 部長、販売1課 小林義典 課長は、挨拶並びに販売促進依頼のため、関西市場4社(大果大阪、大阪中央青果、東果大阪、神果神戸青果)へ訪問しました。

各社に対し、ウクライナ情勢・急激な円安・原油高騰等に伴う資材・運賃等の上昇による経費の増大を訴え、販売価格への転嫁を依頼し、また、新型コロナ影響下における販売腐心と今後のコロナ鎮静化に期待する販売要望を行いました。

市場側からは、産地の非常に厳しい状況は十分に理解しており、一層の努力を行うとの返答がありました。井河部長は、「今後、大変厳しい社会状況ではあるが、嘆くばかりでなく前向きに市場共々、販売攻勢を進めて行きたい。」と話しています。



▲大果大阪



▲大阪中央青果

優秀営農指導員表彰 日開潤課長が受賞

6月30日、第57回徳島県農協営農指導員連絡協議会通常総会が徳島グランヴィリオホテルで開催され、徳島県農協営農指導員連絡協議会より、南部営農経済センター 果樹選果場 日開潤課長が優秀営農指導員として表彰を受けました。

この表彰は、永年にわたり地域の農業振興に尽力され組合員の経済安定向上に努めた功績をたたえ贈られるものです。

表彰を受けた日開課長は、「このような賞を頂き、たいへん嬉しく光栄です。今後も、この受賞を励みに組合員の皆様に貢献ができるように精進してまいります。」と話しました。



すだち加工原料集荷検討会

6月29日、管内のすだち農家の生産と所得の安定を守るため、また、品質の良い原料すだちの集荷を行い、安心・安全なすだち加工製品の消費拡大を図ることを目的に「すだち加工原料集荷検討会」が佐那河内支所で開催されました。

会議には、露地すだち部会 森下嘉文部会長、ハウスすだち部会 奥田雅之部会長、全農とくしま担当者、JA職員等が参加し、今年産のすだちの栽培状況、昨年度の産地別出荷実績の報告があり、出荷要項、出荷における注意事項の説明がありました。

今年度の原料すだちの集荷は8月18日から

9月30日で、加工・冷蔵用合わせ、600トンの出荷を見込んでいます。

露地すだち部会 森下部会長は「コロナ禍の2年間を経て、今後は積極的に消費宣伝活動を行い販路拡大に繋げていきたい。」と意気込んでいます。



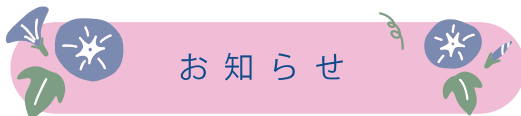
みなさん、こんにちは。徳島往診クリニックの吉田です。6月後半に入り、再び新型コロナウイルスが増加傾向となっています。アメリカのCDC＝疾病対策センターによりますと、6月末の1週間に新型コロナの感染が確認された人のうち、新しいオミクロン変異株であるBA4とBA5に感染した人が半数を超えたとのことです。今後日本でもBA4とBA5の変異株の流行が懸念されますが、これらに共通する大きな特徴として「免疫逃避」が指摘されています。免疫逃避とは、過去の感染で得られた免疫やワクチンによって得られた免疫から逃げる・回避するという意味で、ワクチンを打っていたとしても感染してしまう、感染が拡大してしまう可能性を秘めています。また前回お話ししたサル痘に関しても世界保健機関（WHO）は7月1日、欧州の感染者数がここ2週間で3倍に増加したと指摘し、欧州各国に緊急対応を呼びかける事態となっています。今後日本でこれらの感染症がどういった広がりを見せるか心配ですが、現在国内では熱中症が大きな問題となっています。

6月28日高松地方気象台は四国地方が梅雨明けしたとみられると発表しましたが、これは最も早い梅雨明けで6月では初めてで、梅雨期間は6月13日から15日間とこれまでで最も短いものだったとのことです。梅雨明けに伴い気温がぐんぐん上昇し、東京では6月25日から7月3日まで9日連続猛暑日となり過去最長記録とのことです。熱中症による東京都内の6月の救急搬送者は30日までに1,449人となり、同月としては2010年以降最多で250人だった前年同月と比べると5.7倍にもなるとのことです。

熱中症が怖いのは、本人が気づかないうちに発症・悪化してしまうことです。当院のかかりつけの患者さんでも熱中症を合併された方がいましたが、その方の場合、往診の前日夜から急に起き上がれなくなり、当日朝は食事も摂れなくなったという状況でした。脳卒中の可能性も考えながら往診しましたところ、ぼーっとしていますが問いかけに頷きは有り、手足の麻痺も認めませんでした。

冷房は27℃で設定して途切れることなく使用していたとのことです。この方はベッド上では寝返りができなく、自分で布団を剥いだり掛けたり調整ができないため、ご家族が冷えすぎることを心配して胸まで布団を掛けていたことにより熱がこもってしまい熱中症を合併したと診断しました。直ちに衣服をはだけ、多めに点滴を施行したところ同日の夕方にはお元氣になれましたが、熱中症と気づかず様子を覗いていたら重症化したものと思われる。

熱中症のごく初期には本人からの訴えはなく、周囲の人がなんとなくぼーっとして活気がない様子に気づくことが多くあります。そのような時はまず体温が上昇していないかチェックし、上昇していればすぐ体を冷やして水分補給を勧めましょう。周りが気づかず放置していると、めまいや筋肉の痙攣→頭痛・嘔吐→意識消失・痙攣といった経過をたどり、最悪命も危険にさらされてしまいます。熱中症は決して侮れない病態です。



お知らせ

理事会だより（令和4年6月15日）

協議事項

- (1) コンプライアンス・マニュアルの一部改正について
- (2) 行政庁提出業務報告書について
- (3) 令和4年度会計監査人の監査報酬について
- (4) 令和3年度末監事（決算）監査回答書について
- (5) 3億円超の信用の供与について
- (6) その他

報告事項

- (1) 令和3年度内部監査（資産査定）の報告について
- (2) JAバンク基本方針に基づく「経営管理資料」について
- (3) 債権回収について
- (4) その他

（令和4年6月25日 総代会終了後）

協議事項

- (1) 常勤理事及び役付代表理事の選任について
 - ①代表理事組合長（常勤理事）
 - ②代表理事専務（常勤理事）
 - ③代表理事常務（常勤理事）
- (2) 信用事業専任理事等の選任について
- (3) 特定理事の選任について
- (4) 理事の順位について
- (5) 個人情報保護統括管理者及び情報セキュリティ統括管理者の選任について
- (6) 役員退職慰労金（理事）の決定について
- (7) 令和4年度役員報酬（理事）の決定について
- (8) 役員賠償責任保険の更新について
- (9) みのり監査法人との監査契約締結について
- (10) その他

報告事項

- (1) 代表監事、常勤監事の選任について
- (2) 特定監事の選任について
- (3) その他

農業用廃プラスチック年間回収計画について

9月上旬	川内エリア	
10月中旬	国府エリア、南井上エリア	※左記日程は予定となっております。
10月下旬	川内エリア	
11月中旬	加茂名エリア、勝占・八万エリア	回収日の前月に確定日等をご案内致しますのでよろしくお願い致します。
11月上旬	多家良エリア、北井上エリア	
11月下旬	眉山エリア、渭東エリア	
12月上旬	川内エリア	

島田清弁護士の
無料法律相談

通常通り開催いたしますが新型コロナウイルスの感染状況によりましては開催できない場合がございます。

- 日時** 第3土曜日 9:00～12:00
金融共済部へ事前に予約が必要
- 申込先** ☎ 088-622-8003
- 場所** 本所1階金融相談室

賀上延啓
税理士事務所の
無料税務相談

下記の通り開催予定ですが、新型コロナウイルスの感染状況によりましては、開催できない場合がございます。

- 日時** 8月2日（火）、9日（火）、23日（火）
9:30～15:00
- 申込先** 総務部へ事前に予約が必要
☎ 088-622-6335
- 場所** 本所1階金融相談室

お詫びと訂正

本誌2022年7月号の1ページ「ハウスレンコン出荷始まる」におきまして、本文中の文章の一部に記載が抜けておりましたので、下記の通り訂正いたします。

関係各位には、ご迷惑をお掛けしましたことを心よりお詫び申し上げます。

【本文16行目から】今年も肌が真っ白で品質は（誤） 今年も肌が真っ白で品質は上々。（正）